

9月のご案内

もの忘れ相談会

要予約

日時 9月9日(水)
午後2時~3時

場所 山本町保健センター

受付 9月8日(火)まで

▶申し込み・問い合わせ
地域包括支援センター ☎73-3021



▲申し込みは
こちらから

つなぐ会

もの忘れが気になる人と家族の交流会

日時 9月24日(木)
午後2時~4時

場所 みとよ未来創造館

高齢者あんしん相談

認知症や介護に関すること、
成年後見制度や高齢者虐待などの相談

日程	時間	場所
8日(火)	9:00~11:00	財田町国保高齢者保健福祉支援センター
10日(木)		地域包括支援センター
17日(木)		市民センター詫間

脳きらり教室

認知症予防の教室 内 認知症と食生活の関係

日程	時間	場所
8日(火)	13:30~15:00	みとよ未来創造館
9日(水)		市民センター詫間
14日(月)		三野町生涯学習センター
15日(火)		仁尾町文化会館
16日(水)		豊中町農村環境改善センター
25日(金)		山本町生涯学習センター
28日(月)		財田町国保高齢者保健福祉支援センター

みとよ元気運動塾

転倒予防のための運動教室

日程	時間	場所
3日(木)	10:00~11:30	山本町保健センター
	13:30~15:00	財田町国保高齢者保健福祉支援センター
11日(金)	10:00~11:30	三野町生涯学習センター
	13:30~15:00	仁尾町文化会館
14日(月)	10:00~11:30	市民交流センター
	13:30~15:00	みとよ未来創造館
16日(水)	10:00~11:30	市民センター詫間

オレンジかふえのお知らせ

認知症が気になる人や認知症の
人とその家族、医療・福祉の専門
職など、誰もが気軽に集える場所
です。

料金 100~500円



▲7月に三野町保健センター(太陽の家)で
開催されたオレンジかふえ。理学療法士
から、夏を乗り切るための手を重視した
健康法を学びました

日程	時間	場所	申し込み・問い合わせ先
11日(金)	13:30~15:00	三野町保健センター (太陽の家)	みの元気塾 ☎72-1872
17日(木)	9:15~11:00	河内農村婦人の家 (山本町)	地域包括支援センター ☎73-3021
	13:30~15:30	マリンウェーブ	
	14:00~16:00	みんなの看多機 なないろ(高瀬町)	
18日(金)	13:30~15:00	仁尾町文化会館	地域包括支援センター ☎73-3021
20日(日)	13:30~15:30	特別養護老人ホーム とよなか荘	とよなか荘 ☎56-6300
25日(金)	14:00~16:00	みとよ未来創造館	四国学院大学専門学校 ☎72-5192
26日(土)	14:00~16:00	野田原集落センター (財田町)	阿須波(谷口) ☎090-5712-6777

薬用作物の安定した
農業経営のために

地域おこし協力隊に
大喜多 秀樹さん

8月1日から、みとよ薬
用作物生産組合の安定した
農業経営と確実な出荷先や
販路の確立を行うことを目
的に、大喜多 秀樹さんが、
地域おこし協力隊として着
任しました。
市では、これまで、耕作
放棄地の解消や新たな地域

産業としての確立への期待
から、薬用作物の栽培や産
地化への取り組みを進めて
きました。
一方で、専門的な栽培情
報や技術指導を身近で確保
する体制が整っていないこ
とが課題であり、大喜多さ
んはその仕組みづくりなど



Hideki Okita

東京都大田区出身。大手産業機械メーカ
ーで工機部門を中心に35年間勤務。愛知県
にある本社工場のほか大分県や中国など、
5回の転勤を経験。中国では、現地法人の
立ち上げから技術指導、社長などを担い、
異文化の環境下でも、長く開発に携わって
きた。

を担います。
東京都出身の大喜多さん
は、これまで大手産業機械
メーカーに勤めており、国
内外の工場の立ち上げや品
質システムの開発などに携
わっていました。
就任の経緯や今後の展望
などを伺いました。

思いがあり、今回、定年退
職を期に、地域おこし協力
隊に応募しました”
”また、両親の介護が必要
な際、三豊の介護職員の皆
さんに十分な支援をしてい
ただいたので、恩返しをし
たい”という思いもありま
した”

がら、前任者の立ち上げた
業務を引き継ぎ、スムーズ
にランニングチェンジ※し
ていきたいと考えています。
ものづくりの仕組みやネッ
トワークを、薬用作物の生
産ラインにも落とし込み、
これまでの経験を生かして
貢献できればと思います”

”私自身も、親から受け継
いだ田畑を活用し、素人な
がら生産者の1人としても
取り組んでいきたいです”

薬用作物の産地化という
新たな農業振興へ、期待が
高まります。

▶問い合わせ 農林水産課 ☎73-3040

これまで関わりのなかった
一次産業に携わりたい

”薬用作物の国内生産は、
国策の1つであり、その事
業に携われることを嬉しく
思います。今後は、農業に
ついて勉強させてもらいな



▲7月30日に行われた任命式では、山下市長から
任命書を受け取りました



▲みとよ薬用作物生産組合の皆さんに、薬用作
物の三島柴胡などの畑を案内してもらいました

※ランニングチェンジとは：生産を
止めずに、仕様などを随時切り替
える手法